PRESS RELEASE

2026年11月13日
株式会社サカイ引越センター

サカイ引越センター
第９回 引越サービスコンテスト 専務杯 を開催！
～東日本代表が連覇達成！～

株式会社サカイ引越センター（大阪府堺市：代表取締役社長 田島 哲康）は2026年11月6日（金）に、引越の接客サービス品質と、技術品質を競う、第9回引越サービスコンテスト「専務杯」を開催いたしました。

全国各地で行われた予選で勝ち抜いた7チームと、勤続年数20年以上のレジェンドチーム、合計8チームが参加し、運転・梱包・運搬技術・接客サービスを審査します。9回目となった今大会では、「競技から文化へ」をテーマとし、引越技術を魅せるだけでなく、継承していくことに趣をおいた大会としました。新競技の導入や、社内へのリアルタイム配信、従業員や従業員の家族が応援に駆け付け、会社全体への大会へと進化しています。

日本全国どこでも高い品質と“まごころこめておつきあい”をモットーとした接客サービスを提供できるよう、次世代の現業スタッフへも高い品質や技術を継承していくことで、品質技術の底上げになると考えています。これからも、お客様に満足していただけるサービス品質を高める取り組みを進めて参ります。







優勝は東日本代表　東関東Bブロック
（左から）田島 通利 専務取締役、山﨑　貴史班長、市谷　渉副班長、森井 完太副班長、藤田　哲司副部長

専務杯とは

1971年創業以来「まごころこめておつきあい」をモットーに、お客様にどうすれば喜んでいただけるかを常に考え続けて参りました。大切なご家財を安全に新居に運び、お客様に新生活を気持ちよくスタートしていただくために、お客様目線を持ち続けながら、さまざまな技術を継承し、接客サービスへの教育にも力を入れて参りました。

その核となる引越サービスを担う現業スタッフのサービス・技術をさらに向上させるため、2018年にスタートしたのが「引越サービスコンテスト 専務杯」です。

【今回のテーマは「競技から、文化へ」】

競技を通じて技術を磨き、互いに切磋琢磨するだけでなく、まごころサービスの精神を一人ひとりが理解し、日々の行動として実践することで、まごころサービスを会社全体の文化として根付かせていくことを目指します。

【優勝チームには賞金100万円】

優勝チームには、優勝旗・優勝カップ・表彰状と共に、賞金100万円が贈られます。

引越業では、普段の業務において他支社や、他エリアの技術を目にする機会が多くありません。したがって、この大会を通して互いに切磋琢磨する機会とし、得たものを各地の同僚や後輩に伝えていくことで品質向上が図られています。

競技内容



【ドライバーコンテスト】
狭い通路内を、チームで連携をとりながらトラックの誘導を行い、安全に進む。



【吊り作業】
ご家財を安全に窓から吊り下げ・吊り上げができるかを審査。



【複合競技】
クランクや高さ・幅制限のある通路を、いかに工夫して、安全かつスピーディーにチームワーク良く運ぶことができるかを審査。



【コンテナ作業】
コンテナを使用しての輸送作業を想定し、適切な梱包と積み込みが行えるかを審査。



【養生大型家具作業】
お客様宅での壁養生や、大型家具の梱包、運搬をチームワーク良く行えるかを審査。



【ダンボール応用】
当社のダンボールを使用し、お客様に役立つ実用的な作品をテーマに、発想力や創造性、実用性を総合的に審査。

―本件に関するお問い合わせ―
株式会社サカイ引越センター　広報課　内藤・中西
Mail：sakaipr@hikkoshi-sakai.co.jp　TEL：072-241-0464